

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日

令和 8 年 1 月 29 日

事業所名

こぼんはうすさくら 川崎京町教室

保護者等数(児童数) 30名

回収数 30件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	5	0	3	・部屋の広さと児童数で考えると狭いかも もしれませんが、外出プログラムや公園 に連れて行ってくれたり配慮があつて嬉 しいです。	・今後も安全に活動を行えるよう工夫 していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	2	0	3		・状況に合わせた配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリ アフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	24	3	0	3		・引き続き工夫しながらバリアフリー等 への配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	21	3	0	6		・今後も清潔かつ整理整頓された空間で 過ごしていただけるよう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	0		・職員間の共有の強化や研修などで専門 性を高めていけるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	26	2	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が 作成されていると思いますか。	29	1	0	0		・今後も保護者様との面談や送迎時の 申し送りなど日々共有しながら個別支援計 画の作成に努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思い ますか。	28	0	0	2		・引き続き適切な支援に努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		・引き続き適切な計画及び支援に努め ます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	29	1	0	0	曜日の偏りもなく楽しく学べる日があつ て嬉しいです。	・引き続き楽しく学べるよう工夫していき ます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の こどもと活動する機会がありますか。	12	0	5	13		・どのような方法があるのか前向きに 検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担 等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		・引き続き契約時に丁寧な説明を心がけて いきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	30	0	0	0		・引き続きわかりやすく丁寧な説明を心が けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等 が行われていますか。	9	3	8	10		・現状機会がないため、提供していけるよ う検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	3	1	0	一緒に喜んでくれたりとても嬉しく思 っています。	・引き続き日々の送迎や面談時に共有し ながら共通理解に努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2	2	1		・いつでも相談がしやすい環境づくりに 努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	3		・今後も保護者様や子どもたちに寄り添 いながら支援が出来るよう努めていき ます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされてい ますか。	4	3	12	11		・保護者参観のような形など検討していき ます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	25	3	0	2		・お時間を多く取れないこともあります がお気軽に相談していただけるよう努めて いきます。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	0	0		・引き続き漏れがないよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	1	3		・出来る限りリアルタイムで共有していけるよう努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	3		・引き続き留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	6		・積極的に保護者様へ共有していけるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	0	6		・今後も非常災害に備えて訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	7	3歳の娘がしっかり口を押えて姿勢を低くするのを家で見せてくれました。びっくりです。	・お子様にもしっかり理解していただけるよう引き続き取り組みます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	2	4		・引き続き漏れがないよう細かいことも共有していけるよう努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		・日頃から交流を大切にし、安心して通えるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	1	0	少しずつ帰ってきたらごはんややったことを身振り手振りで教えてくれるようになってきました。	・楽しんで通える場所であるよう引き続き努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0	イベントや食育など楽しくいろんな経験をさせてもらえて感謝しています。	・様々な体験から学びを得られるよう工夫しながら取り組んでいきます。

公表日

令和 8 年 1 月 29 日

事業所名

こばんはうすくら 川崎京町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・導線がスムーズになるよう工夫している。 ・	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・それぞれの役割を分担しコミュニケーションがとれている。 ・	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・トイレへ並ぶ際に足元を足形マークにすることで分かりやすくしている。	・トイレのみ段差がある ・約束事などのルール表など増やしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・食前食後の手指消毒を徹底している。	・ごみが多く出るため夏場はコバ工など対処が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・仕様上少し離れた所にあるが適宜使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日のミーティングで行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		・保護者様との関わりや情報共有が足りていないと感じている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・ミーティングや面談で話し、反映させることが出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・会社として第三者による外部評価のシステムを導入する必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		・交流研修の機会を多く作ってもらいたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・一人一人意見を出し、毎月違うプログラムになるよう工夫している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		・引き続き定期的なカンファレンスを行いながら適切に作成していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・少しの間でもミーティングを行い共有や見当をすることが出来ている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・共有することで目標に沿って支援を行うことが出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・標準化されたアセスメントは実施できているがインフォーマルなアセスメントツールを作成、実施していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		・適切にお伝えできるよう工夫していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		・今後も引き続き楽しみながら学べるプログラムを考えていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・一人一人が意見を出すことで固定化しないよう工夫している。 ・3ヶ月以内に行ったプログラムと被らないよう行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・引き続き状況に合わせた計画、支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝のミーティングを行っている。 ・業務開始時に当日特に注意する点や支援方法などの共有がある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・終了後は行っていないものの、翌日朝のミーティングで共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・その日の課題や良かったことについて話す機会がある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・目標と期間内での変更などを共有、話し合いが出来ている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		・参画する機会を検討したい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・一部ですが専門機関との連携により支援を行う体制作りを行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		・連携を図れるよう積極的に関わりを持っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・管理者や児発管が行っている。	・積極的な共有を行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	3		・一部のお子様ですが連携を図る機会がありました。今後も様々な面で機会を作っていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・地域の中でイベントに参加することがある。	・公園で会った際に一緒に遊ぶこともあるが減多にない。機会を作りたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時やLINEを活用しコミュニケーションがとれるよう努めている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・面談などで声を拾い支援する機会はあるものの、広く周知する必要がある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		・契約時に行っております。今後も丁寧な心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談の際に行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		・書面を提示しご説明の上、同意をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・LINEや電話、必要に応じて面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		・今後、招待し一緒に楽しむ機会を設けていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・こどもからは少ないですが対応し共有出来ている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・SNS等を利用し定期的に活動に関する発信をしている。	・平日利用のお子様は情報や写真などが少ないため工夫が必要。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・引き続きSNS等での個人情報の保護に留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・子どもに合わせた方法を検討、実践したり、保護者様との擦り合わせを引き続き行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・招待できるようなプログラムの検討が必要。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・訓練は行っているものの家族への周知が出来ていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		・引き続き定期的に訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		・引き続き契約時や必要に応じて確認、対応をしていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・おやつを箱に分ける等の対応をしている ・原材料を確認して購入、提供している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		・引き続き安全計画の作成及び研修、訓練を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		・取り組みについて会報誌に載せるなど対応を検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・毎日記入、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修を行い、意識して対応することが出来ている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		・対象者がいないため行っていないが、今後必要に応じて対応していく。